



料金別納郵便

青に逢う

島本 恵里 × 岡田 泰・瀬津 純司・富川 秋子 四人展

令和4年11月11日(金)~16日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日16日は午後5時まで)

協力：Atelier Kisai

作家在廊日：島本恵里 11月11日(金)~13日(日)、16日(水)

岡田 泰 11月14日(月)~16日(水)

富川秋子 11月11日(金)、16日(水)

寒さも増してくる立冬の候、「青に逢う」と銘打ち、書家と三名の陶工による四人展を開催致します。

国内では書家としての顔をもつ島本さんは、アメリカやヨーロッパにおいては既にアーティストとして活躍されています。墨と青を使い、筆と極大な刷毛を駆使するアート作品は独自の世界を確立しました。

岡田 泰さんは山口県の萩で「淡青釉」と名付けた淡い青色の作品で人気を博しています。美しくも儚いその淡青色は、萩から臨む大好きな日本海の青とのこと。瀬津純司さんは京都で墨流しの新しい技法に挑む陶工です。青色だけにとどまらず、その麗しく流れる文様は愛陶家の心を掴んで放しません。富川秋子さんは、神奈川県鎌倉で「氷青釉」と名付けた作品を懸命に作られています。氷の様な薄青色の葉と凛とした白色の造形が注目されています。

はたして四人の最新作がどの様に弊廊で響き合うのか、私も楽しみにしている所です。どうぞご覧、いや、ご覧を頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

柿代ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



島本恵里
Shimamoto Eri

昭和47年 東京都に生まれる
8歳より書を学び、書家としては高橋豊媛の名前で活躍

水墨画家 吉田華宇に師事
アーティスト 島本恵里として、平成30年にホテル椿山荘でのグループ展に出品
その他、ニューヨーク、ロンドンをはじめ国外のアートフェアに精力的に参加し、発表を続ける
今回、満を持して日本でのグループ展に本格的に参加

■書家 高橋豊媛 受賞歴
平成26年～令和4年 毎日書道展 入選
令和2年 第41回日本書展 東京都知事賞
令和3年 第42回日本書展 内閣総理大臣奨励賞

現在、日本書写技能検定協会 東京都審査員
現代書道研究所 理事



岡田 泰
Okada Yasushi

昭和51年 山口県萩市に生まれる
平成14年 東京造形大学 美術学部 彫刻科 卒業
平成17年 京都市工業試験場 陶磁器専修科 修了
父 岡田 裕 (山口県指定無形文化財 萩焼保持者) に師事

平成25年 菊池ビエンナーレ奨励賞
日本伝統工芸展60回記念
「工芸からKOGEIへ」展出品

平成27年 日本陶芸展 優秀作品賞・毎日新聞社賞
平成28年 山口伝統工芸展
日本工芸会山口支部長賞

平成29年 エネルギア美術賞
山口県芸術文化振興奨励賞

令和元年 現在形の陶芸 萩大賞展V 優秀賞
現在、日本工芸会 正会員



瀬津純司
Setsu Junji

昭和50年 京都に生まれる
平成10年 京都精華大学 美術学部 陶芸専攻 卒業
平成14年 第31回 日本伝統工芸近畿展 新人奨励賞

平成16年 日本伝統工芸近畿展 入選 (以後9回)
平成27年 第8回 現代茶陶展 TOKI 織部優秀賞
平成28年 第9回 現代茶陶展 TOKI 織部奨励賞
平成29年 第3回 金沢・世界工芸コンペティション 入選

第10回 現代茶陶展 入選
(平成30年、令和2、4年)

平成30年 第3回 日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞
関西展 入選

令和4年 第5回 金沢・世界工芸コンペティション 入選



富川秋子
Tomikawa Akiko

昭和52年 神奈川県鎌倉市に生まれる
平成14年 女子美術大学 大学院 美術研究科 修了
平成19年 茨城県窯業指導所 成形・釉薬科 修了
平成24年 第59回 日本伝統工芸展 入選
平成25年 第5回 菊池ビエンナーレ 入選
第22回 日本陶芸展 入選

平成26年 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 岩国美術館賞
平成29年 第10回 現代茶陶展 TOKI 織部奨励賞
令和元年 第59回 東日本伝統工芸展 MOA美術館賞
令和3年 笠間陶芸大賞展2021 一部公募部門 入選

現在、日本工芸会 正会員